

日付：2025年 2月 11日（火）

今日の行き先

No	TOPIX	媒体	解説	活用・リストアップのヒント
1	三菱UFJ信託、AIで認知機能確認 高齢客の営業に活用 について	日経 1 認知症・介護	- 三菱UFJ信託銀行は月内に、高齢者に金融商品を販売する際にアプリを使って認知機能を推定する仕組みを導入する。人工知能(AI)が顔の表情や話しぶりから認知能力を確かめ、十分な判断能力があると判断した顧客にのみ元本割れのリスクのある商品を勧める。不適切な営業を防ぎながら、顧客の状況に合った金融商品を提供できるようにする。 - アプリは顧客の同意を得た上で、70歳以上の高齢者との面会の際に利用する。タブレット端末で顧客の笑顔や真顔の表情を撮影し、「資産運用を始めたきっかけ」などの質問を投げかけ、応答ぶりから10分程度で認知機能を推定する。順大の研究を基にしたAIが表情の変化や音声の揺らぎ、話す速度によって判断する。	- 介護(特に認知症)の話題として活用 - 認知症保険のニード喚起と保障の訴求(若年層にも) - 介護の保障もあわせて訴求
2	1月倒産、11年ぶり800件超 前年比19%増 について	日経 8 法人・個人事業主	- 東京商工リサーチが10日に発表した1月の企業倒産(負債額1000万円以上)は840件と前年同月比19.8%増えた。1月で800件を超えるのは2014年以来11年ぶりとなる。 - 倒産の中心は中小・零細企業で、従業員10人未満の倒産が754件と全体の9割を占めた。 - 人手不足が理由の倒産は3.2倍となり、サービス業など労働集約型の産業で人材確保の難しさが目立った。業種別では、サービス業が最も多く13件あった。産業別では原材料費の高騰に苦しむ建設業で24.1%増の170件、小売業で28.6%増の90件だった。 - 倒産件数は25年はゆるやかな増加基調が続くとの見方が強い。	- 中小法人やオーナーの話題として活用 - 保険を活用した「経営」のお手伝いを訴求 - 法人契約の確認や訴求まで
3	楽しい記憶 睡眠で強化 について	日経 15 特定の疾病・医療保障	「楽しい」や「怖い」などの体験は記憶に残り、長い時間が経過しても思い出せる。一方、詳細な仕組みはわかっていなかった。 - 理化学研究所は、楽しい思い出が記憶に残りやすい仕組みを解明した。睡眠時に特定の神経回路が刺激され、記憶を強化していた。この研究結果をより進めていくことで、精神疾患や依存症の予防や治療法の研究につながる可能性がある。	- 特定の病気(とくに精神疾患や依存症)話題として活用 - 特定の病気に対する備えの確認とニード喚起から、保障の最新化・最適化
4	大腸の内視鏡検査、熊本市で一部無償化 について	日経 38 がん・医療保障	- 熊本市は10日までに、大腸がんの早期発見と治療につなげるため、55～59歳の市民の一部を対象に、全大腸内視鏡検査を2025年度中に無償で実施する方針を決めた。 - 市などによると、大腸がんは日本人の死因トップの「がん」の中でも罹患(りかん)数が最も多い。市区町村が全大腸内視鏡検査の費用を全額負担するのは全国で初という。	- がんの話題として活用 - がん保障の最新化や拡充 - 一時金の保障だけでなく、再発や先進医療なども訴求

市況情報※

日経平均/前日比	38,801.17/ 14.15	定期預金金利(1,000万以上/10年)	0.400%
TOPIX	2,733.01/ ▲4.22	国債(5年)/前日差	0.985%/ 0.000
ダウ平均	44,470.41/ 167.01	国債(10年)	1.315%/ 0.015
上海総合指数	3,318.06/ ▲4.11	米国債(10年)	4.498%/ 0.003
ドル円	152.17-18 34銭安	中国国債(10年)	1.631%/ 0.031

今日は何の日

- 干支供養の日⇒
- 仁丹の日

干支置物等を製作している陶磁器メーカー・中外陶園が制定。
立春の直後で、十と一を組み合わせると「土」になることから。
一年間大切に飾られ厄を払ってくれた干支置物に感謝し、元の土に還す日

誕生日うらない

本日生まれの方の特徴：社交性が抜群で、人脈作りが得意な人

長所
・働き者
・即断即決ができる
・性格がひょうきん

短所
・見栄っ張り
・刹那主義
・物忘れがひどい

誕生花：オオイヌフグリ
花言葉：忠実・信頼・清らか

誕生日
カラー
赤色



詳細はこちら

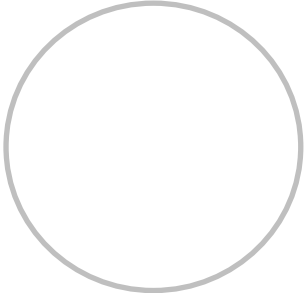
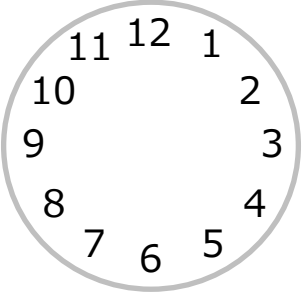
本日の深掘りウォッチ：自宅でできる認知症診断テストの種類と基準 1 描いて診断！「時計描画検査（CDT）」について

（1）認知症チェック「時計描画検査（CDT）」

「時計描画検査（CDT）」はアルツハイマー病の診断に有効といわれる検査です。時計の絵を3種類の方法で描く検査なので、短い時間でできて患者の負担が少ないのが特徴となります。また、年齢や教育の差の影響を受けにくく、誰でも簡単に組み組めるといったメリットもあります。「時計描画検査」は、視空間認知と構成能力を評価することができるとして、有用性がある検査となります！

時計描画検査（CDT）の手順

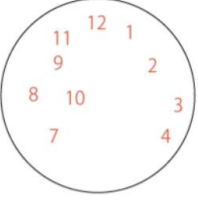
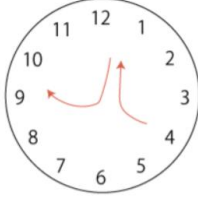
時計描画検査の評価は定量評価と定性評価の2種類で行います。定量評価は異常があれば0.5点ずつ減点していきます。また、定性評価は描いた異常な絵を、あらかじめ用意された例（①～③）に分け、それぞれ点数をつけていきます。

①. 時計の絵を書いてください	②. 円の中に時計の数字を描いてください	③. 10時10分の針を描いてください
		

- ①. の紙を渡し、時計の絵を書いてもらう。
- ②. の紙を渡し、円の中に文字盤を書いてもらう。
- ③. の紙を渡し、10時10分の針を書いてもらう。

①と②と③を採点し、定量評価では異常があれば0.5点ずつ減点していきます。

（参考）時計描画検査（CDT）の異常例
時計描画検査（CDT）の異常例としては以下のものがあります。

円の異常	数字の異常	針の異常
		

上記の図でいうと、①の項目で円に形が崩れており、②の項目も数字が正しく並べられていないため異常です。③の項目も、針が正しく10時10分を指していないため、異常例といえます（それぞれ0.5点ずつ減点）。

（2）定量評価では、合計8点以下なら認知症の可能性が高いといえます。

引用元：みんなの介護／[リンク](#)